

新

くまむら議会だより

115号
2024.11.25

間もなく完成する沖鶴橋

もくじ

9月定例会	2
一般質問	6
編集後記	12

9月
定例会

令和5年度一般会計「歳出」決算額は、 約91億8千7百万円

第8回定例会が、9月9日から17日までの9日間の日程で開催されました。

初日は、6月定例会以降の諸般の報告、例月出納検査結果報告、一部事務組合の報告を行い、続いて、日隠啓一代表監査委員より、令和5年度財政健全化判断比率及び資金不足比率について報告がありました。その後、認定5件、議案6件、同意1件が上程されました。

議会では、監査委員の報告を受け決算審査特別委員会を設置し、2日間にわたり、各課から令和5年度成果報告書に基づき説明を受けました。審査の結果、全員一致で原案の通り認定すべきと決定しました。

一般質問は6名の議員が通告書に基づき登壇し、復旧復興や各種施策について、執行部の考えを質問しました。

【認定】

○令和5年度球磨村一般会計決算の認定

○令和5年度球磨村国民健康保険特別会計決算の認定

○令和5年度球磨村後期高齢者医療特別会計決算の認定

○令和5年度球磨村介護保険特別会計決算の認定

○令和5年度球磨村簡易水道特別会計決算の認定

(各会計の決算額は別表のとおり)

【条例】

○球磨村国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

* 本年12月2日より被保険者証が廃止されること等に伴い、罰則に関する規定を整備するもの。

【規約】

○熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について

* 本年12月2日より被保険者証が廃止されること等に伴い、規約の整備を行うもの。

【同意】

○球磨村教育委員の選任同意

小川 豊明 さん(小川班)

【予算】

①令和6年度球磨村一般会計補正予算について

補正予算の主なものは、

○財産管理費の公有財産営繕工事費1,612万4千円。

○デジタル田園都市国家構想事業費の地域活性化企業人制度事業負担金140万円

○林業振興費で特産処理加工施設設計業務委託料250万円

○道路維持費で城山線排水路整備負担金2,900万円。

補正額1億6,414万1千円を追加し、歳入歳出予算総額61億6,311万8千円となります。

②令和6年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について

マイナンバーカードと保険証の一本化に向けたシステム改修業務委託に伴う増額補正により、補正額65万4千円を追加し、歳入歳出予算総額4億9,034万9千円となります。

③令和6年度球磨村介護保険特別会計補正予算について

補正予算の内容は、介護予防活動支援事業費の増額及び社会保険診療報酬支払基金への令和5年度償還金を計上したことから、補正額1,403万3千円を追加し、歳入歳出予算総額7億2,634万9千円となります。

④令和6年度球磨村簡易水道特別会計補正予算について

4月昇給に伴う職員の給与及び手当の増額補正により、補正額34万5千円を追加し、歳入歳出予算総額1億9,319万8千円となります。

9月定例会 審議した議案等とその結果

議案番号	件名	結果	賛成	反対
報告第6号	令和5年度健全化判断比率及び資金不足比率について	報告	8	0
認定第1号	令和5年度球磨村一般会計決算の認定について	原案認定	8	0
認定第2号	令和5年度球磨村国民健康保険特別会計決算の認定について	原案認定	8	0
認定第3号	令和5年度球磨村後期高齢者医療特別会計決算の認定について	原案認定	8	0
認定第4号	令和5年度球磨村介護保険特別会計決算の認定について	原案認定	8	0
認定第5号	令和5年度球磨村簡易水道特別会計決算の認定について	原案認定	8	0
議案第43号	球磨村国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	8	0
議案第44号	熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	原案可決	8	0
議案第45号	令和6年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決	8	0
議案第46号	令和6年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決	8	0
議案第47号	令和6年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決	8	0
議案第48号	令和6年度球磨村簡易水道特別会計補正予算について	原案可決	8	0
同意第4号	球磨村教育委員会委員の選任同意について	原案同意	8	0

(採決の人数は、議長を除く8名)

どなたでも傍聴できます。

9月定例議会の傍聴人数は延べ**18人**でした。

※会議録は「球磨村ホームページ」→「行政情報」→「球磨村議会」
→「会議録（一覧ページ）」で閲覧できます。

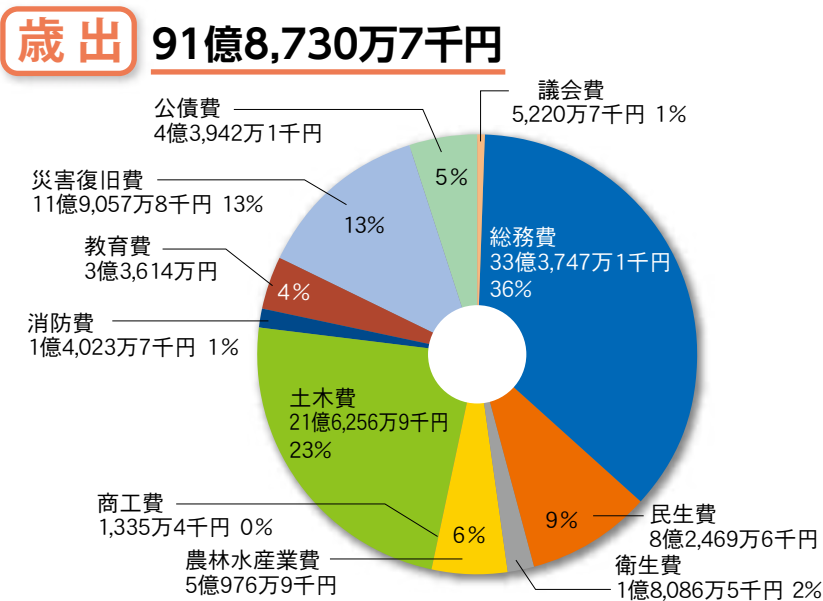
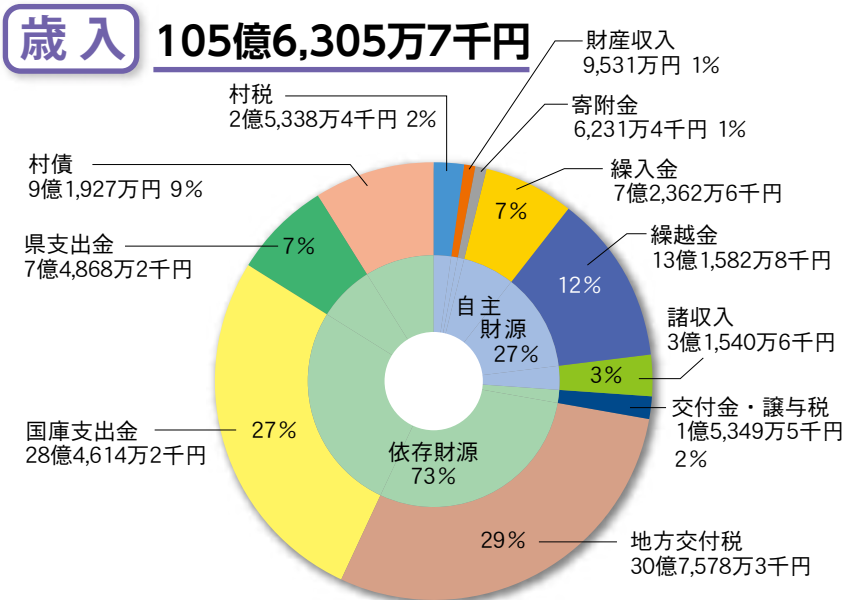
令和5年度一般会計及び特別会計決算を認定

～決算審査特別委員会で審議～

令和5年度一般会計及び特別会計の決算について、日隠啓一代表監査委員より決算審査の報告を受け、議会に決算審査特別委員会を設置し、審議することとなりました。

審査日程については、9月9日に正副委員長を選任し、10日及び11日に、執行部関係者から説明を受け審議し、本会議において全員一致で認定しました。

また、審査の中で委員から、「予算の執行で終わるのではなく、事業を実施し目的に対しどのような成果が上がったことを検証することが重要である。」「算審査及び議会決算審査特別委員会で質問や意見に、しっかり協議し今後の成果に結びつけてほしい」等意見が出されました。



注意：決算書に基づく金額を記載

令和5年度球磨村一般会計決算の内訳（左図）

令和5年度一般会計決算については、歳入財源の比率は、村税等からなる自主財源が約27%、国・県支出金等の依存財源は約73%となっています。

歳出決算額は、前年度に比べ約23億1,648円の増加しており、主な要因は渡、一勝地の災害公営住宅建設など災害復旧・復興に係る事業費の支出が高くなっています。

令和5年度一般会計及び特別会計の決算額

	歳入額	歳出額
一般会計	105億6,305万7千円	91億8,730万7千円
国民健康保険特別会計	5億8,820万8千円	5億2,069万4千円
後期高齢者医療特別会計	5,331万2千円	5,331万1千円
介護保険特別会計	7億7,387万8千円	6億5,378万9千円
簡易水道特別会計	1億2,472万円	7,400万円
合計	121億317万5千円	104億8,910万1千円

※千円以下は端数調整をしていますのでご了承ください。

決算審査特別委員会 委員長報告

東 純一 委員長

歳入について

1 健全な財政運営を図るためには、自主財源の確保が重要であり、ふるさと納税など貴重な財源については、増額につながる取り組みを行うこと。

2 税、使用料などの徴収については、職員の徴収努力により未収金も減少しているところであるが、今後も公平・公正な観点から、確実な徴収を実施し、納付意欲が低下しないように努めること。

3 基金の状況については、令和5年度においては7億8千万円の積み増しが行われているが、今後、復興にかかる事業も計画されていることから、長期的な財政計画のもとで適正な運用に努めること。

歳出について

1 一般会計では、令和5年度に

おいても、復旧復興に関連する予算が増加しているが、補助金の支出については、事業の使途、内容等の現状を把握し、どのような効果があつたのかを検証した上で、事業の推進に努めること。

2 予算を効率的・効果的に執行するため、執行状況の確認に留意し、財源の有効活用と適正な事業執行に努めること。

国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険特別会計においては、健康増進事業に尽力されている。今後も、財政状況との関連も含め、各特別会計事業が連携、連動し、高齢者のいきがいづくりや健康教室、介護予防事業により、健康寿命が延びるような更なる事業の推進を図ること。

併せて、一般会計と同様、事業の効果を検証し、適正な予算執行に努めること。

簡易水道特別会計では、公営企業として独立採算制が原則であるが、料金改定については、村内の簡易水道、地区簡易水道、給水施設それぞれの利用者のことも考慮して検討し、持続的な簡易水道事業に努めること。

最後に、今後、本格的な復興が進む中で、一つ一つの事業が目的につながっているか検証を行い、庁内での連携を図り、取り組まれるようお願いいたします。

災害公営住宅や宅地分譲により、生活再建をされた方がいる一方で、依然として仮設住宅等で生活をされている被災者の方もおられることから、早急に生活再建への安心が図られるよう、親切、丁寧な情報の提供と対応をお願いします。

今回の決算審査特別委員会は、成果報告書に基づきどのような成果があつたかを基本に審査しました。指摘事項については各課において、検討で終わることなく、改善につながるような対応をお願いします。

結びに、健康があつて復旧復興が成しえると思います。村民の健康維持と併せて職員各位の健康の維持にも努めてください。球磨村の早期復旧と創造的復興のため、尽力いただくことをお願いし委員長報告とします。

木造仮設住宅を移設しての村有住宅は、 要望があれば移設できるのか 東 純一 議員



答

災害仮設住宅の活用については、地域の住民の皆さんそして企業の方々としつかり話し合いをしながら考えていく。

問

神瀬中心部においては、地区の新しい姿が見えてきたと感じている。一方で宮園橋については撤去の計画が進められているが、地区の方々の思いとすれば、小規模な沈下橋であるとか、住民が歩いて渡れるような構造を国・県に要望できないか。

村長

宮園橋は次の災害を考えたときに、村としては撤去の方向で進めさせていただきたいと考えている。

問

住民の方々の思いがあるということ踏まえて、しっかりと意見を交えてもらいたい。

村長

神瀬の住民の方からそういうご意見があれば、また、

しっかりと考えていきたい。

問

友尻地区においては、かさ上げ工事が本格化していくようである。他の地区も同様であるが、今回の仮住まいについては各自で見つけなければいけない状況である。対象世帯によっては、高齢者だけの世帯であるとかやはり心配するが、どのような状況なのか。

建設課長

基本的には個人で手配していただく形になっている。

問

探すのは個人。高齢者の独り住まいの方とか、そのところを心配している。木造仮設住宅には、どうしても規則で工事区

間内だけでも入ることはできないのか。

審議監

一旦再建された方が再度入居するというのは災害救助法では困難というところで、国とも協議をしたが、やはり難しいという回答であった。

問

渡地区においては、引堤、遊水地等大きな工事が行われている。当該地区に住んでおられた住民の方々、大変重い決断であったと思う。皆さん方の状況としてはスムーズに進んでいるか、どのような状況に捉えられているか。

総務課長

決断をいただいた遊水地の中に居住されておられる方々、引堤の工事に合わせて移転を余儀なくされている方々には大変心苦しく思うところである。今、災害公営住宅への転居であるとか、塚ノ丸団地への転居、あるいはまだ造成工事が終わらないので、仮設住宅で生活をされておられる方

というような状況である。

問

渡小学校、旧千寿園跡地の復興まちづくり計画について、検討中の中身について説明いただきたい。

復興推進課長

いろんな複合型の施設を計画をしている。まつりのできる広場、災害を伝承して受け継ぐ研修施設、物産館等そういったところの整備もできればと思う。



遊水地工事が始まった渡地域

様々な課題があるなか、今年度、解決しなければならない道筋を立てなければならぬ事業は 永椎樹一郎 議員



答 最大の課題は、人口減少と少子高齢化、顕著な状況であり、早急に対策を進めていく。

問 創造的復興、持続可能な村づくり、政策実現を確実に進めるために、今後どのように考え、どう実行していくのか。

村長 例えば空き家対策、移住者支援、ニーズに応じた仕事場の確保、子育て支援、教育環境や福祉サービス、公共交通等の充実、防災対策など総合的な対策を講じ、住みよい村づくり、選ばれる村づくりに努めていく。

教育関係のいろんな特色ある学校を進めるとか、住宅施策など、しっかりと村外から来ていただくという考えで取り組んでいく。

問 地域おこし協力隊員が持っているネットワークを駆使して、球磨村に来てもらう、仕事をしてもらう取り組みの考えは。

村長 地域おこし協力隊員が、いろいろなつながりを持っておられるのは承知している。話を聞くと、球磨村に移りたいとか、同世代の方がおられるということである。その話を伸ばせるのであれば、しっかり伸ばしていきたい。

問 国の政策により、様々な補助金、支援があるが、その支援だけで人口減少、移住定住の解決につながらない。球磨村独自の施策を考え、取り組み、解決していかねばならないと思うが。

村長 補助金だけでは、球磨村に来ていただけないのは、わかっている。いろいろな支援と併せ、例えば子育て世代であれば、学校

問 復興施策の先には、村民の豊かさの実現できる振興策が必要。振興の方向性を示し、実現するための取り組みは。

村長 復興施策の先には、村民の豊かし、村民の幸せ、村民の心の豊かさが実現できる振興策が必要。振興の方向性を示し、実現するための取り組みは。

村長 「共助のむらづくり」「地域資源を活かした村づくり」「安全・安心な暮らしの環境づくり」「健康・長寿の村づくり」「未来を拓く人づくり」、5つの基本目標に基づく取り組みが本村の振興策である。

問 振興策がいろいろあるなかで、村民の暮らしに直結する、商工業の事業再生支援、郵便局の早期再開支援など、方向性を示し、選択肢はいくつかあると思うが、関係機関と連携を密にし、前に進めていかなければならないと思うが。

村長 周知しながら、どのように望んでおられるのか、しっかりと寄り添っていきたくて思っているが、ただ、今はどうしていくと言える段階ではない。

問 施策の実現には、財源が必要。今後の財政計画、財政運営、財源の確保にどのように努め、対応していくのか。

村長 国や県の制度や支援を最大限活用する一方、村税の確実な徴収や企業版ふるさと納税制度に積極的に取り組み、自主財源の確保による財政基盤の強化を図っ

ていく。

問 より多くのふるさと納税をしていただくために、これまで縁があった自治体、企業、団体に対し、ありとあらゆる方法を駆使し、大々的なキャンペーンを行うなど、ふるさと納税の確保を行っていかねばと思うが。

村長 ふるさと納税の先進地などから、いろいろご教示をいただいたところである。そういったところもしっかり考え、本村と関わりのあるところにPRを行っていきたくて考えている。それと併せて、返礼品になり得る新しい特産品開発にも取り組んでいきたい。



球磨村に訪れた方々に「ふるさと納税」のPRを

郷土の歴史や文化、人物や功績などを学ぶ教育、郷土愛を育む教育について、考えは

田代 利一 議員



答 自然や伝統文化、さらには防災に関する体験的、探究的、創造的な学習を通して、郷土に対する愛着と誇りを育みたいと考えている

問 村長より郷土愛を育む教育について答弁があったが、教育

長としては、どう考えているか。

教育長 本年度、義務教育学校球磨清流学園が開校し、特色ある教育の一つとして「ふるさと学」を設け、各ステージごとに球磨村の伝統文化、地域産業、防災といったものを系統的に学んでいくカリキュラムを組んでいる。

地域に実際に出かけて行き、地域の人から聞いて学ぶ、体験的な学習によって郷土に愛着と誇りを持つ、未来につなげていくというよじな学習を行っていることである。

問 防犯カメラを学校に設置することがとても重要なこと

であると考えている。球磨清流学園における防犯カメラの必要性についてはどう考えているか。

教育長 防犯カメラの必要性というのは十分認識をしている。既に学校が3校あった時代から防犯カメラを設置しており、私自身も学校への不審者侵入に関しては防犯カメラの有効性というのは認識をしている。昨年も球磨中学校で不審者まがいの情報が入ってきたときに、活用された事例がある。

問 今後の農業について、村内では年間約1,800頭以上

の鹿を駆除していると聞く。猟友会が幾ら捕っても追いつかないのが現状で、荒廃農地対策は急務とも言える。荒廃農地対策について、どう考えているか。

産業振興課長 耕作放棄地の解消については、まずは農作物に被害を

及ぼす有害鳥獣を里山に寄せない取り組みが必要と考える。どうしても山つきの農地のほうが耕作放棄地になりがちで、有害鳥獣の温床、住みかになって農作物に影響を及ぼしている。それぞれの農家で被害の防止対策、電柵を張って



被害防止対策の電柵設置

いただいているが、今後は集落を取り込んで、集落全体での取り組みが必要と考える。今回、補正予算で有害鳥獣被害対策の一環として、地域が一体となって耕作放棄地となっている有害鳥獣の住みかの草払いやロケット花火による追い払い等の活動を行ったところに対して補助をするという取り組みを推進していきたいと考えている。

問 アナグマやカラス等については補助金が少ないために猟友会の駆除意欲が低いのが現状。早急に補助金の上乗せ等を検討

してもらいたいと思うが、どう考えているか。

村長 村が依頼して獣害を駆除しては、一定の銃弾に対して、弾に対する補助ということで、今回の補正予算に計上している。



大槻阿弥陀堂

文化財の保存・活用は

宮本 宣彦 議員



答

なんらかの施設、コーナーを併設し、活用していく。

問

村には、綿々と引き続かれてきた球磨村の歴史や文化、壮大で美しく珍しい自然が残されているが、文化財の保存・活用は。

村長

国名勝の堤石戸の「神ノ瀬ノ岩屋」、日本遺産に登録され、また県の重要文化財として指定さ

れている神瀬住吉神社などがある。

また、村内の各地域にも神社などの建造物をはじめ彫刻や工芸品など貴重な文化財があり、村で指定している文化財もある。村文化財保護専門委員会を中心に保存状況の確認や活用について定期的に検討している。

問

独特の名所旧跡や神社、歴史的な古文書や発掘物など、多く現存しているものの、その保存や活用が不十分のように思われるが。

村長

文化財の活用の取り組みの一つとして、案内板や標柱を設置し、訪れた方々がその価値を感じられるようにしており、計画的に立て替え等を実施している。併せて、村の歴史を学び、郷土へ

の理解を深める取り組みとして、球磨清流学園の生徒による「球磨一周の旅」や、教職員向けの郷土理解研修等を実施している。

問

文化財等の保存・活用が不十分のように思われる。何らかの施設の中で紹介できるようなコーナーも作るべきではないか。

村長

村内には残していかねければならないものがたくさんある。その保管場所を執行部で検討しているところだ。いま一つ候補として挙げられているのは、渡小学校の跡地、千寿園跡地に災害を伝承する施設を建設する考えで、それと併せてできないか検討している。

問

村の情報通信サービス（インターネット・テレビジョン放送サービス）は、平常時の情報収集や娯楽、緊急時の災害情報提供など、村民の生活にとって切り離せないものとなっている。その契約や管理について、どのような状況となっているか。

村長

令和2年7月豪雨災害後、転出された方の中には高齢者も多く、混乱の中で脱退の手続きができておらず利用料が発生していた方があった。その事実が判明した時点で、現状を確認し処理した。未納分の徴収については、徹底した滞納整理を図るため、税務住民課と連携している。

総務課長

高齢者の方が多く、手続きができていなかったことがあった。落ち着かから手続きをされ、利用していなかった事実が判明した場合、遡って廃止・脱退の手続きをしている。

未だ100%確認が取れていないので、今後も、判明した時点で手続きをお願いすることとしている。

問

未納・滞納が発生しないよう、その手続き等には十分注意していただきたい。この情報サービスは、災害情報等を含め普段の生活に必要なものだ。

総務課長

災害を受け、混乱の中で対応したというのが大きな理由だ。関係課と連携しながら進める。



元千寿園の駐車場跡地

元千寿園の駐車場の跡地を無償で譲り受けできないのか

板崎 壽一 議員



答

寄付の申し出がない限り、有償での取得と考えている。

問

渡小学校跡地と千寿園の跡地の整備に千寿園所有の駐車場が含まれているが、現千寿園が建っている村有地は、無償貸付になっているのに、元千寿園の駐車場は無償で譲り受けることはできないのか。

村長

様々な意見があると承知している。

村の立場としては、相手側からの寄付の申し出がない限り、有償での取得と考えている。

問

寄付してもらおうように進めることはできないのか。有償であればそこところの整備は外してもらいたい。

村長

先ほどの答弁したとおり、有償での取得と考えている。

問

「かわせみ」別館の解体工事、その後の建替工事について、家族風呂、テレワーク施設等の造作はどうなったのか。

復興課長

別館の再建については、家族風呂・テレワーク施設を検討してきた。しかし本村には図書館がないことと、併せてキッズ

ルーム等を木造仮設の2階建てで出来ないかと計画してきたが、現在保留にしている。村内外の方々に利活用、並びに利用度が高い施設を検討している。

問

小中一貫式の義務教育学校 球磨清流学園が分離型にて進んでいるなか、旧球磨中学校校舎改修工事は終わっていると思うが、その後の一体型校舎の建設計画については話題もないし、人口減少の抑制が出来ない状態での建設計画はどうなっているのか。

村長

清流学園が開校して、一体型校舎の議論は出ていない。校舎も老朽化しており、今後その様な議論が出てくれば、村民も交えて議会、執行部と議論し、もし叶うのであれば一体型校舎を建てたいと考えている。

問

意見交換会で、指定管理者から一勝地温泉交流センター「かわせみ」の運営状況の説明を受けたが、不明点が多くて理解できなかった。営業状況等の説明は正しかったのか。

村長

議会と執行部の意見交換会に於いて、指定管理者株式会社トラックセッションから「か

わせみ」の令和5年度事業報告と、令和6年度事業計画について、代表者欠席にて支配人と統括責任者から説明を受けた。内容として令和5年度は当初計画の売り上げ目標額と営業利益も黒字を確保し、おおむね目標どおりの経営実績であったと考えている。令和6年度事業計画では営業活動やイベント開催で来客を増やして売上を伸ばすとともに、経費削減に努め、計画の安定化を図るとの説明を受けたが、不明点の指摘には確認したいと考えている。

問

運営状況の中で収支計算書について、指定管理者ではなく執行部が説明をしたことはおかしい。収支計算書の数値を精査し、正しいと思ったのか。

村長

代表者が欠席のために執行部が収支計算書の説明を行ったが、数字上は正しい報告であったと思っている。

復興課長

「かわせみ」は温泉だけではレストラン、宴会等を増やすようにしなければならぬ状況である。指摘の不明点は、代表者に説明をお願いする。

「勝地交流センター」**「かわせみ」**の運営状況について、令和5年度の**事業報告及び決算報告**についての所見は
高澤 康成 議員



答 初年度においては、おおむね目標どおりの経営実績であったと判断しているところである。

問 球磨村復興まちづくり計画は、復興計画にある基本目標などの達成に向け、村民と行政が復興に対する共通認識を持って、復興に関わる様々な取り組みを実現するために作成するもの。

これまで、国・県の強力な支援の下、災害公営や村有住宅、宅地整備分譲など様々な被災者再建、災害に強い村となるよう取り組みが進められている。しかし、人口流出、将来的財源の確保、地域コミュニティの維持など課題が解決することはなく、地域コミュニティの再生で重要な役割を果たすのは住民の方々であると認識している。そこで、復興の進捗と課題は何かか村長にお伺いする。

きた。昨年度末に塚ノ丸団地の第1期分27区画が完成し、第2期分の13区画は、今年度中の完成を見込んでいる。村の最重要課題である人口減少対策については、村外からの移住・定住施策を推進しながら、ニーズに応じた仕事場の確保、子育て支援、教育環境や福祉サービス、公共交通等の充実、防災対策など総合的な対策を講じて、魅力ある村づくりの推進に努めていることが肝要であると考えている。

問 部活動の地域移行について、生徒にとって望ましい持続可能な運動部活動と、学校の働き方改革の両立を実現するため、9月より地域移行をしているようだが、将来的な地域移行後の維持・継続を心配している。地域移行段階において課題と将来的ビジョンについてお伺いしたい。

村長 地域移行はしたものの、現時点の指導の中心となる者は学校教職員であり、教職員の働き方改革から見た部活動の地域移行として、外部からの専門的指導者の確保が課題。今後は、さらに地域への啓発と協力を働きかけ、指導者等の登録数やクラブ加入者数の増加を図る。

問 「かわせみ」運営について、トラックセッションと契約を締結し、業務委託をしているが、指定管理委託料及び施設改修費も含め、令和5年度成果報告では指定管理料も含めた総額が約7,700万円程度となっている。令和5年度の事業報告及び決算報告についての所見は。

村長 令和5年度事業実績についてはリニューアルオープンが2か月ほど遅れたが、当初計画の売上目標額の97%の実績となった。また、営業利益も確保していることから、初年度においては、おおむね目標どおりの経営実績であったと判断しているところ。今後も一緒になって、私たちもいろんな指導、意見を言いながら進めてい

ければと現時点では思っている。
問 経費、運営に関して、金銭的な部分に非常に不透明さを感じている。予算の執行においては、しっかり精査した上で、執行権がある村長においては、適宜、タイミングも含め、予算の執行をお願いしたい。



令和5年9月にリニューアルオープンした一勝地温泉「かわせみ」

くまっこ

球磨清流学園 9年生



球磨清流学園の最初の卒業生になる16名です。少ない人数ながら、リーダーとして一人一人が役割を果たし、頑張っています。球磨村子ども議会では、球磨村の未来について私たちが考えたことを伝えたいと思います。

9年生担任 松川 奈央教諭

齊藤 紬さん

子ども議会に向けて、たくさん調べ学習をしてきました。球磨村が良くなるようにたくさん意見を出していきたいです。

友尻 玲勇さん

球磨村の未来が良くなるように、子ども議会を頑張っていきたいです。そのために、資料を集めて議会に臨んでいきたいと思っています。

編集後記

「猛暑日」が最多記録を更新した暑い長い夏も終わり、朝晩の冷え込みでやっと秋の気配が感じられる季節となりました。

復旧、復興は非常に重要な事業ですが、将来にわたる村政発展のために、復旧・復興事業以外にも、今年度、解決しなければならぬ、道筋を立てなければならぬ事業や課題が、様々あると思っています。

「球磨村の創造的復興」「持続可能な村づくり」のための施策の実現、一歩一歩でも確実に前へ進めるため、今後どのように考え、どう実行し、成果を出していくのか見据え、村が目指す姿を導き、今後の球磨村の振興策が、村民の「くらし」「心の豊かさ」「幸せ」につながっていくのか、しっかりと検証し、丁寧に取り組んでいってほしいと思います。

永椎 樹一郎

議会広報特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 板崎 壽一 |
| 副委員長 | 西林 尚賜 |
| 委員 | 宮本 宣彦 |
| 委員 | 永椎 樹一郎 |

■球磨村世帯数:1,193世帯 ■人口:2,659人 男:1,281人 女:1,378人(令和6年11月1日現在)